

事前のお知らせ



展示品を「みて・さわって・あそべる」

～練馬の児童館展、開催～

と き	1月26日(土)～27日(日)	と ころ	練馬区立美術館 (貫井1-36-16)
-----	-----------------	------	---------------------

26日から、練馬区立美術館で「第16回練馬の児童館展」が始まる。同展は、地域の「子育て・子育て支援」施設である児童館を広くPRし、理解を深めてもらうことを目的に開催されており、毎年親子連れなど6,000人以上の人でにぎわいをみせる。

「あそぼう！みんなの児童館」をスローガンに、「みて・さわって・あそべる」コーナーが盛りだくさん。区立児童館17館と厚生文化会館児童室を利用している子どもたちの日常の様子など、工夫を凝らして紹介されるほか、「ダンボールでつくった獅子」やおみくじなどの手作りゲームも展示されており、子どもたちが笑顔で楽しむ姿が、会場のあちこちで見られる。

27日まで開催、入場無料。主催：練馬区立児童館・厚生文化会館



【昨年の展示作品】



【昨年の様子】

【練馬の児童館展のみどころ】

会場には、手作りかるたや点字新聞などを利用したリサイクル工作、また、ビーズや粘土を材料としてつくられた作品などバラエティ豊かな展示作品の数々が並ぶ。

西大泉児童館は、今年の干支である「巳」を消しゴムに彫ったはんこ展示や、毎年上石神井児童館の季節行事やお祝いごとに登場するという「ダンボールでつくった獅子」をはじめ、縁起物も数多く展示される。厚生文化会館児童室からは、「自分だけのかわいい部屋」を子どもたちが考え、折り紙でつくったミニチュアドールハウスを展示する。

また、実際に展示作品を使って、遊びながら楽しめることが同展の特徴。光が丘児童館作成の「玉がコロコロと転がっていく手作りおもちゃ」や、栄町児童館作成のペットボトルキャップを使ったおみくじなどで遊ぶことができる。

会場では区内の児童館と厚生文化会館児童室すべての「じどうかんだより」が配布されており、区内の各児童館(室)の情報を得られるとともに、活動の成果を垣間見られる絶好の機会となっている。

【練馬の児童館展】

「児童館展」は、区内の児童館17館と厚生文化会館児童室の日常の活動や事業を紹介するとともに日頃児童館などを利用している子どもと大人と一緒に制作した作品を展示し、鑑賞・体験してもらう中で、地域の「子育て・子育て支援」施設である児童館の理解を深めてもらうことを目的としている。スローガンは「あそぼう！みんなの児童館」。

昭和52(1977)年から、「児童館合同作品展」として開催してきたものを、平成10年に会場を練馬区立美術館に移し、「練馬の児童館展」としてリニューアル、毎年1月に開催している。通算すると、今年が37回目となり、毎年6,000人以上が同展に訪れる。

【問い合わせ】 こども家庭部 子育て支援課 子ども育成係 電話：03-5984-5827